

鳥取市では、将来にわたって公共施設を安心して使い続けていけるよう、施設の再編を検討しています。その取り組みとして、現在「国府地域のくらしと公共施設を考えるワークショップ」を開催しています。「このまちでどんなくらしをしていきたいか」、「そのためにどんな施設が必要か」を、全2回のワークショップを通じて地域のみなさんと一緒に考えていきます。



これからの公共施設を考えるキャラクター
とっとりん

第1回

施設のこれからを くらしの視点で見つめる

日 時：7/25 (土)

9:30~12:00

会 場：国府町コミュニティセンター

参加者：22名（4グループで編成）

Topic1

たたき台を見る 視点を設定する

ワーク1では、事前アンケートの結果を見ながら次のワークでたたき台を見るための視点を整理し、グループ独自の新たな視点を話し合いました。



Topic2

たたき台の 改善の方向性を考える

ワーク2では、2つのたたき台(※)の良い点・心配な点・必要な条件について整理し、それぞれの改善の方向性を検討しました。

(※)たたき台…市が結論を決めたものではなく、参加者の皆さんと一緒に考え、意見を出し合うための出発点となる資料



Topic3

全体共有 ～次回に向けて～

ワークショップの最後には、各グループから話し合いの内容を発表し、たたき台2案の改善の方向性や次回、中心に考えたい内容などを全体共有されました。

次回は、具体的な改善アイデアを深掘りし、再編案としてまとめます。実際の活動や将来へ繋がる多角的な視点でまとめることを目指していきます。

